

## 平成 29 年度 第 1 回 電子情報工学科外部評価委員会 議事録

開催日時：2017 年 5 月 23 日（火）10：00 ～ 12：30

開催場所：D 館 3F D355 会議室

出席者：

委員長 広島大学大学院 山本 透 教授

委員 (一社)日本電機工業会 大阪支部 紀國谷 充男 事務長

教員 藤本教授、栗田教授、竹田教授

配布資料：学生便覧、シラバス、カリキュラムマップ、卒業生の就職先と進路

議事次第

### 1. 教育プログラムの説明

- (1) 平成 29 年度工学部学生便覧にて成績評価方法と専門教育科目の説明
- (2) 平成 29 年度シラバスにてカリキュラムフローとシラバスの説明
- (3) JABEE の定めた基準を利用したカリキュラム構築

### 2. 教育改善の取り組み

- (1) JABEE を利用した学習・教育達成度の評価
- (2) 授業評価アンケート
- (3) 卒業生に対する学習・教育目標アンケート
- (4) 教員同士の授業レビュー（ピアレビュー）
- (5) 企業アンケート
- (6) 電子情報工学科自己点検評価の実施
- (7) 工学部外部評価委員会の実施
- (8) 工学部・大学院 FD 研修会

### 3. 卒業生の主な進路

- (1) 近年の就職先の推移
- (2) 大学院進学率と進学先

### 4. 学科施設の見学

- (1) JABEE 資料保管室
- (2) 実験室 (D339、D354)
- (3) 研究室 (電子知能システム研究室)

### 5. 教育プログラムの評価

- (1) シラバス及び成績評価方法について
- (2) JABEE の取り組みについて
- (3) 教育改善の取り組みについて

### 6. その他

## 教育プログラムの評価及びご意見

### (1)カリキュラムについて

- ・科目をバランスよく配置した良く考えられたカリキュラムである。
- ・企業の立場では、大学で基礎の部分をしっかり修得した学生は企業に入ってから専門性を活かすことができると考えている。今回の評価委員会で、電子情報の基礎をしっかり学ぶことができるカリキュラムが設計されていると感じた。

### (2)教育プログラムの点検活動について

- ・学科会議や自己点検評価委員会で継続的に改善がなされており、良く取り組まれていると思う。
- ・企業でも ISO の取得などで手間のかかる作業が増加する傾向がある。教育プログラムの点検についても、それぞれの組織にとって最適にアレンジされた解があると思う。今回の評価委員会ではその解のひとつを知ることができ有意義であった。

### (3)教育プログラム全般の評価

- ・全体的に良く取り組まれていると思う。
- ・教育のエビデンスを残していくことは大変だと思うが、PDCA サイクルを回す中で、どうしても必要なものと、それほど必要でないものを取捨選択する必要があるのではないか。
- ・どこの教育現場でも教員の労力が増加する方向にあり、無駄なものを排除する発想も重要である。

### (4)その他の教育への提言

- ・就職にあまり積極的ではない学生の意識を高めるひとつの方法として、OB の活用がある。広島大学では 2 月頃に OB が研究室を個別に訪問し、学生に直接企業案内を行なっている。この OB との接触を契機に、進路を決定する学生も少なくない。

電子情報工学科外部評価委員会は原則 2 年に 1 回の割合で実施予定であり、次回は平成 31 年度を予定している。

以上

記録者 栗田 耕一



確認者 藤本 暢宏

